

コロナワクチン、10月から高齢者ら向け定期接種に ワクチンは5種

2024/9/27 朝日新聞

高齢者を対象にした新型コロナウイルスワクチンの定期接種が10月1日から始まる。費用の一部は原則自己負担となり、オミクロン株の亜系統「JN.1」系統に対応した5種類のワクチンが使われる。



10月から始まる新型コロナウイルスワクチンの定期接種		
	これまで	10月から
	臨時接種	定期接種
対象	生後6カ月以上	①65歳以上 ②重い基礎疾患がある60～64歳
費用	無料	原則一部を自己負担
使用ワクチン	4種類	5種類

メーカー	販売名	タイプ
ファイザー	コミナティ	mRNA
モデルナ	スパイクバックス	mRNA
第一三共	ダイチロナ	mRNA
武田薬品工業	ヌバキソビッド	組み換えたんぱく
Meiji Seikaファルマ	コスタイベ	レプリコン(自己増幅型)

新型コロナウイルスワクチン接種は、3月末まではまん延予防上の緊急の必要性がある場合に認められる「特例臨時接種」として、生後6カ月以上の全世代が自己負担なしで接種できた。今年度からは個人の重症化予防を目的とし、インフルエンザワクチンと同様に、主に高齢者が対象の秋冬の定期接種となった。10月1日から来年3月末までが接種期間となる。

対象者は、(1) 65歳以上 (2) 心臓や呼吸器疾患、免疫不全などの重い基礎疾患がある60～64歳。接種回数は年1回で、費用は自治体によって異なるが、3千円程度となる場合が多く、独自の助成で無料で受けられる自治体もある。

定期接種の対象外の人はい任意接種となり、全額を自己負担する。医療機関によるが、ワクチンの価格と接種費を合わせて1万5千円程度が見込まれる。